

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度：平成 30 年度)

施設の名称	東大阪市立 児童文化スポーツセンター			指定期間	27	年度～	31	年度	
				選定方法	公募				
				指定管理者名	東大阪市文化振興協会・NTTファシリティーズ共同事業体				
所管部課名	社会教育部青少年スポーツ室			評価機関名	株式会社ブレインファーム				
施設の設置目的	科学、文化及びスポーツを通じて人間性豊かな子どもの育成を図ることを目的として、本市に児童文化スポーツセンターを設置する。			主な事業	プラネタリウム等の関する事業 常設展示室に関する事業 スポーツホールに関する事業 科学・文化およびスポーツに関する各種事業及び教室を開催する業務及び 学校園共済事業等への協力業務				
設置時期	平成	3	年度						
主な料金体系 (有料・無料等)	有料。減免制度あり。								

2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)		次年度(見込)					
	平成	27	年度	平成	28	年度	平成	29	年度	平成	30	年度	平成	31
供用(開館)日数	301		295		295		-		-					
収 支 状 況 (千 円)	収入総額	174,230		185,722		186,488		164,170		163,644				
	指定管理者委託料	170,779		169,361		170,552		159,100		158,534				
	利用料金収入	0		0		0								
	自主事業収入	0		824		1,095		1,050		1,050				
	その他収入	3,451		15,537		14,841		4,020		4,060				
	支出総額	165,959		185,722		187,618		164,170		163,644				
	人件費	34,531		39,114		34,973		37,849		37,629				
	施設維持管理費	86,442		95,530		96,455		89,626		89,380				
	事業費	29,331		25,102		25,474		21,641		21,585				
	その他支出	15,655		25,976		30,716		15,054		15,050				
収支差額	8,271		0		△ 1,130		0		0					

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)			
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見	
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	施設の設置目的にある科学、文化及びスポーツを通じて人間性豊かな子どもの育成を図るとい目的に合致した運営がされていると言える。 自主事業を含めて、乳幼児から中高生まで幅広い層に利用があることが評価できるが、施設サービスの向上について、利用者のニーズや満足度の把握が十分ではなく、苦情や要望についてもそれを受け付ける仕組みがないため、処理フローを含めた整備が望まれる。	利用者アンケートは定期的に実施し、利用者の満足度を図るよう指導していくことが求められる。	
効率性 経費の低減等の効果があったか？	S	電力供給会社の契約の見直しを行うことで年間約100万円、光熱水費の約7%の経費を削減していることは評価される。その他ネット印刷の活用なども積極的に行っている。また業者への発注についても見積もりを精査し、効率的な運営を行おうとしていることも評価できる。	利用者増加の取り組みを支援すると共に、事業ごとの採算を考慮し、効率的な運営が行われるよう指導が求められる。	
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	B	事業計画書に書かれた内容についてはおおむね実施されており公募時の提案と実態に相違はない。 人員配置については、採用を強化しているものの欠員が出ており、早急な改善が望まれる。 個人情報のファイルについては、鍵付きのキャビネットに保管されているものの、その鍵の管理についてのルール化がされておらず、施設における個人情報の適切な管理体制を再度構築して頂きたい。	毎年の行政のモニタリングにおいて、同じような指摘が目立つため、実務レベルでの具体的な指導をして頂きたい。	
継続性	財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？	A	指定管理者としての財務健全性は事業継続上問題がないが、経常利益は減少傾向にあり、今後も適正な施設運営をする上で、さらなる工夫と効率化が求められる。	会計処理については適切にされているが、毎年の財務状況については確認を行い、より適切な運営をするための指導をして頂きたい。
	労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取り組みが実施されているか？	A	適切に労務管理がされており、労務リスクにより指定管理者の業務に支障をきたす可能性は低い。	事業の継続性から見た労働環境の整備は適切と思われる。
今後期待される点やその他特記事項	最終評価 A	幅広い層の利用者を誘客するために、展示物や注意喚起の仕方を工夫するなどの取り組みを行っているところは高く評価できる。 今後は、職員の育成研修を計画的に行い、また定期的なアンケートを実施し定量的なデータを把握することで更なるサービスの向上、効率的な運営が期待される。		